

**中高大学生の4人に3人はスマートフォンを持つ時代へ！**

**YouTube、LINEは8割以上が使っている！**

**コミュニケーション系のアプリは女子の使用率が高い！**

スマートフォン・タブレットの所有と使用に関するアンケート調査

□ トピック

- ・ 中高大学生のうち、約75%はスマートフォンを持っている
- ・ 特に学年が上がると保持率は上がり、大学生では95%がスマートフォンまたはタブレット端末を持っている
- ・ 持っていないと回答した層についても、まったくICT環境がない訳ではなく、家にはあるが個人所有をしていない場合が多い
- ・ 使用したことのあるアプリでは、全体の8割以上がYouTube、LINEは使用したことがあると回答
- ・ コミュニケーション系アプリは、学年が上がるほど、また男子より女子において使用率が高くなった

<アンケート概要>

対象：日能研卒業生の中学1年生～大学4年生

調査方法：インターネット

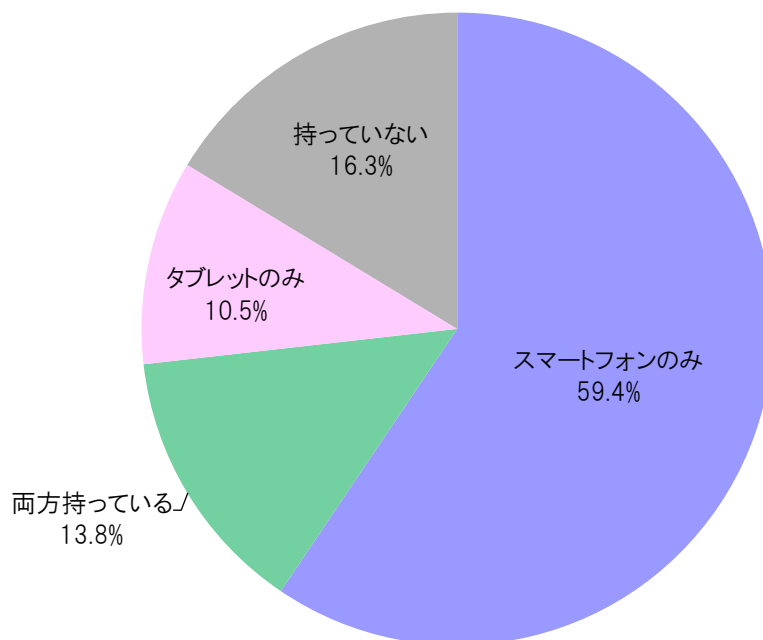
回答者属性：

学年	回答数				合計
	1年生	2年生	3年生	4年生	
中学生	133	105	80	-	318
高校生	70	83	82	-	235
大学生	67	52	60	52	231
総計					784

■ 中高大学生のうち、4人に3人はスマートフォンを持つ時代へ

今回の調査に回答した中学生から大学生までのうち、59.4%が「スマートフォンのみ」を持っていた（図表 1）。タブレット端末と「両方持っている」と答えたのが 13.8%。「スマートフォンのみ」の回答者と加えて、約 3/4 の学生がスマートフォンを持っていることがわかった。「タブレットのみ」持っているのは 10.5%、また「(スマートフォンもタブレットも)持っていない」が、全体の 16.3%となった。

<図表 1：スマートフォン、もしくはタブレット端末を持っていますか？（n=784）>

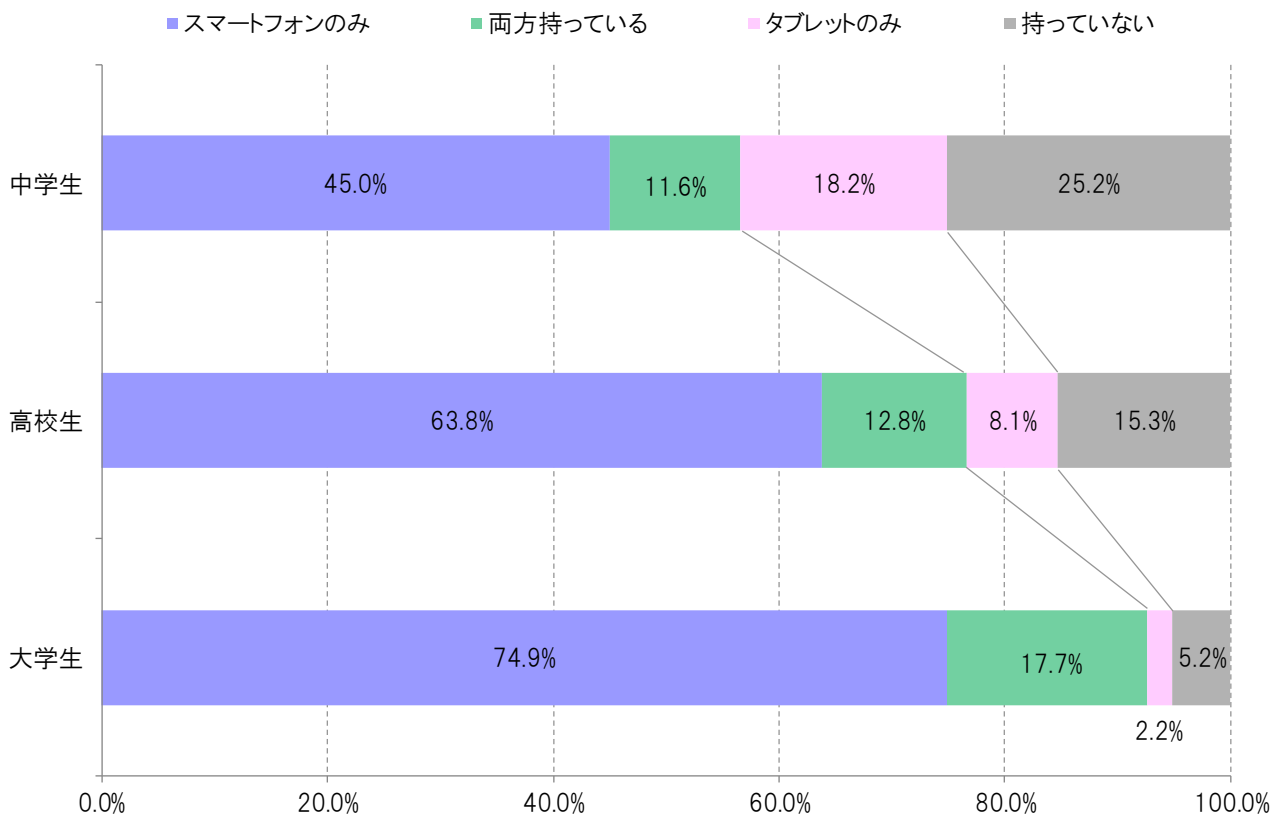


中学生・高校生・大学生の区分で分けてみると、「スマートフォンのみ」と「両方持っている」を合わせたスマートフォン保持率は学年が上がるほど上昇し、中学生で 56.6%、高校生で 76.6%、大学生では 92.6%となった（図表 2）。

「持っていない」層については学年が上がるにつれて減少し、中学の 4 人中 1 人は持っていない状況（25.2%）から、高校では 15.3%、大学になると 5.2%となり、約 95%がスマートフォンやタブレットを持っている結果となった。

「タブレットのみ」を見ると、「持っていない」と同様に学年が上がるほど減少している。スマートフォンとほぼ同じ機能をもつタブレットだが、スマートフォンと比較するとその大きさからか、明確に「スマートフォンとは異なるもの」と認識され、中高大学生にとっては代替品としては捉えられていないようだ。

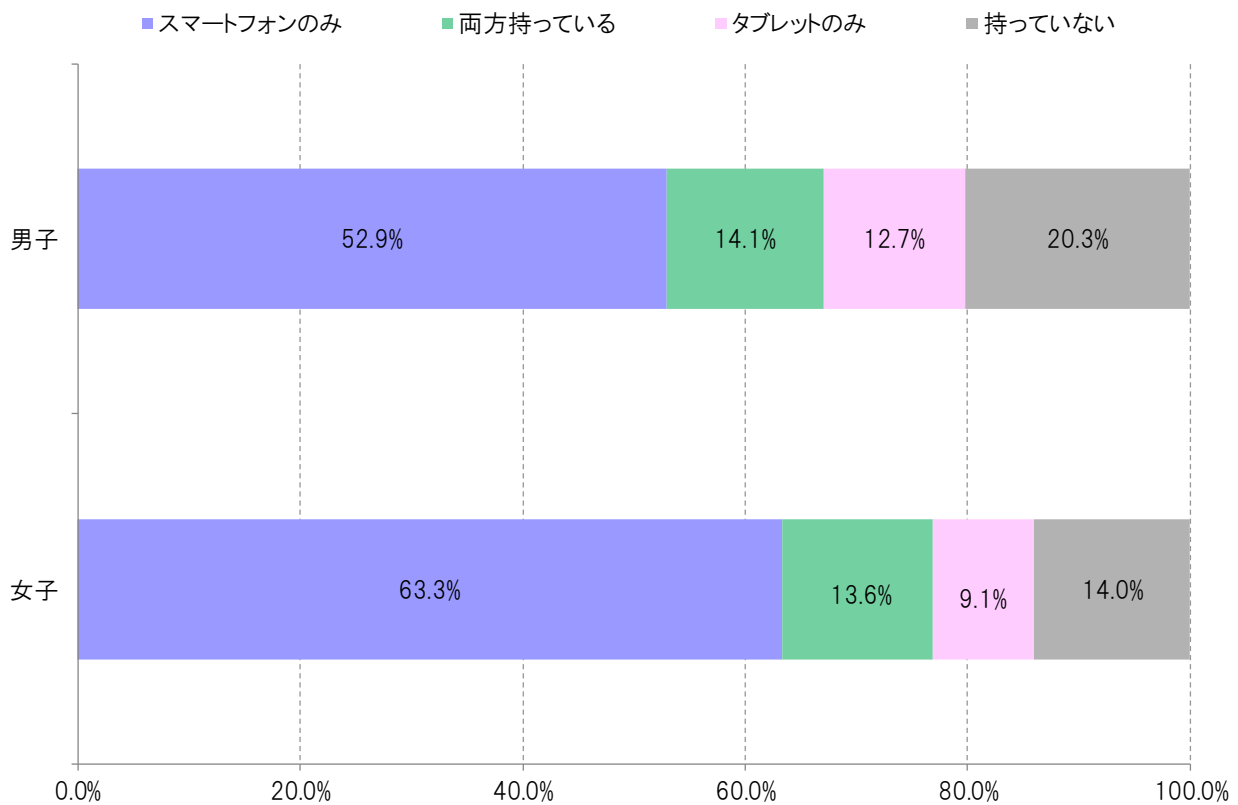
<図表 2：スマートフォン、もしくはタブレット端末を持っていますか？  
(中高大区分別 n=784) >



男女別では、男子より女子の方がスマートフォン保持率は高く、「スマートフォンのみ」「両方持っている」を合わせた割合が男子は 67.0%、女子は 76.9%となった（図表 3）。

いわゆるガラケーの保持率は、今回のアンケートからはわからないため、女子の方が携帯電話全般（スマートフォンおよびガラケー）の保持率が高いとは言えない。ただ、スマートフォンやその中のアプリにより他者とのコミュニケーションの方法が多様化したと考えれば、男子より女子の方がコミュニケーションに関心があると言えるかもしれない。

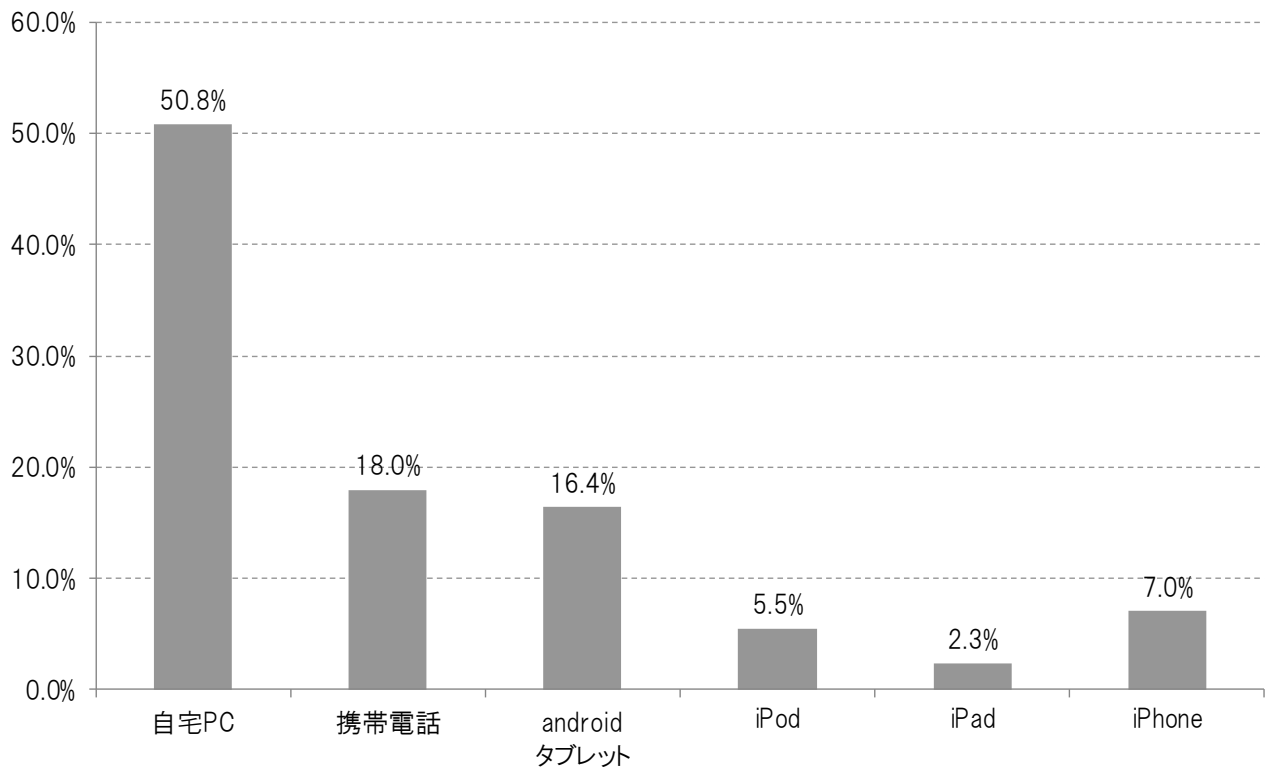
<図表 3：スマートフォン、もしくはタブレット端末を持っていますか？  
 （男女別 n=784） >



ちなみに、「持っていない」と答えた層の、回答ページへのアクセス方法を見ると、「自宅PC」からの回答が約半数を占めた。次いで「携帯電話（18.0%）」「android タブレット（16.4%）」となった。

「持っていない」と答えた層についても、ICTの各環境が整っていないという訳ではなく、PCや「自分だけのものではないタブレット端末」は持っており、またインターネット環境についても整っているようだ。

<図表4：「持っていない」層のアンケート回答方法（n=128）>

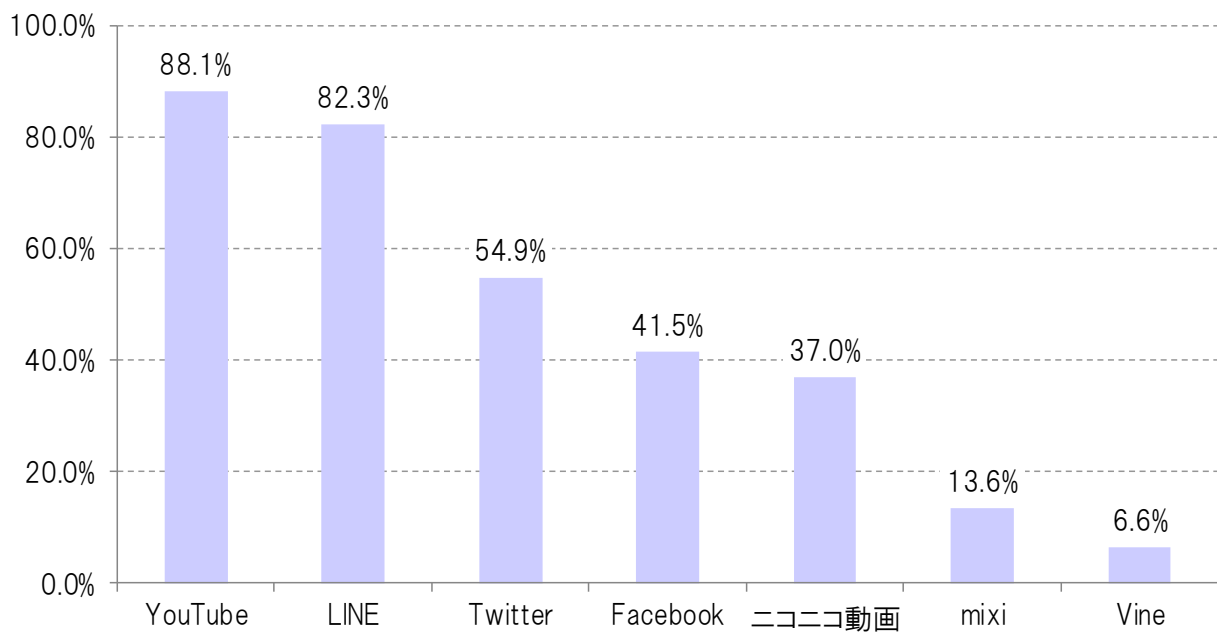


■ YouTube、LINE は全体の 8 割以上が使用したことがある

次に「スマートフォンのみ」「両方持っている」「タブレットのみ」を回答した人を対象に、使用したことがあるアプリケーションについて聞いた。回答者全体で見ると、「YouTube」が 88.1%、LINE が 82.3% で 8 割超えた（図表 5）。

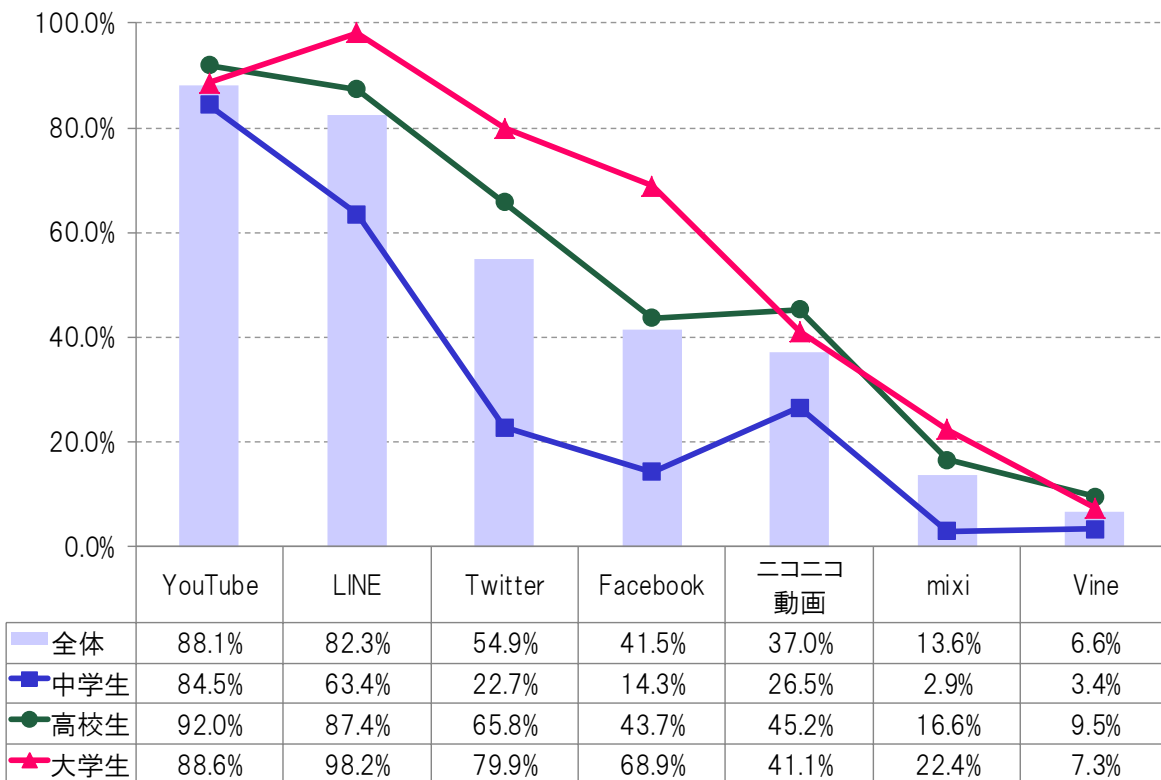
「使ったことのあるアプリ」を聞いているため、比較的その割合は高く出やすい。その中で、mixi や Vine については、9 割近い回答者が「使ったことがない」と回答した。特に海外では流行している Vine も、中高大学生全体で見ると、まだまだ使用者が少ないアプリとなった。

<図表 5：使ったことあるアプリ（n=656）>



使用したことのあるアプリを中学・高校・大学に区分してみると、YouTube についてはどの年代についても8割を超えた(図表6)。LINEについては大学生で利用率が高く98.2%。学年が上がるにつれて、LINE、Twitter、Facebookのコミュニケーション系のアプリの利用率が上がっている。特にTwitter・Facebookは、中学生で約2割程度しか使用しなかった。逆に中学生・高校生では、ニコニコ動画がその学年の中での利用率が高く、TwitterやFacebookよりも利用率が高くなった。

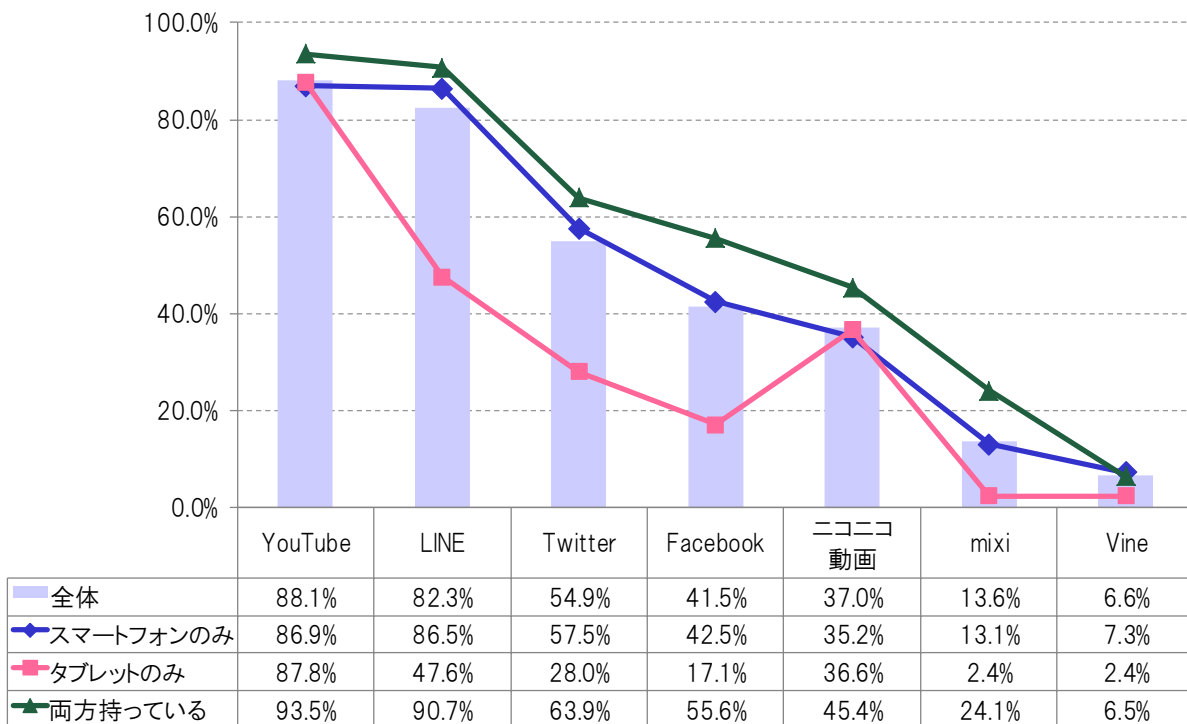
<図表6：使ったことあるアプリ（中高大別 n=656）>



アプリの使用について、保持しているデバイス別に見ると、「両方持っている」と答えた層がほとんどのアプリについて使用率が高くなった（図表 7）。デバイスを両方持つことと、多くのアプリを使うことに関連性が見えた。

一方、「タブレットのみ」と答えた層については、他の 2 つの層よりも使用率が低いアプリが多く、特に LINE、Twitter、Facebook については大きく使用率に差ができた。ただ YouTube とニコニコ動画についてはタブレットのみでも使用率が高かった。タブレットのみで考えた場合、主に使用するアプリは動画系のものになった。コミュニケーション系のアプリについては、即時性が求められるため、携帯するには少しサイズが大きいタブレット端末には向かないのかもしれない。

<図表 7：使ったことあるアプリ（保持デバイス別 n=656）>

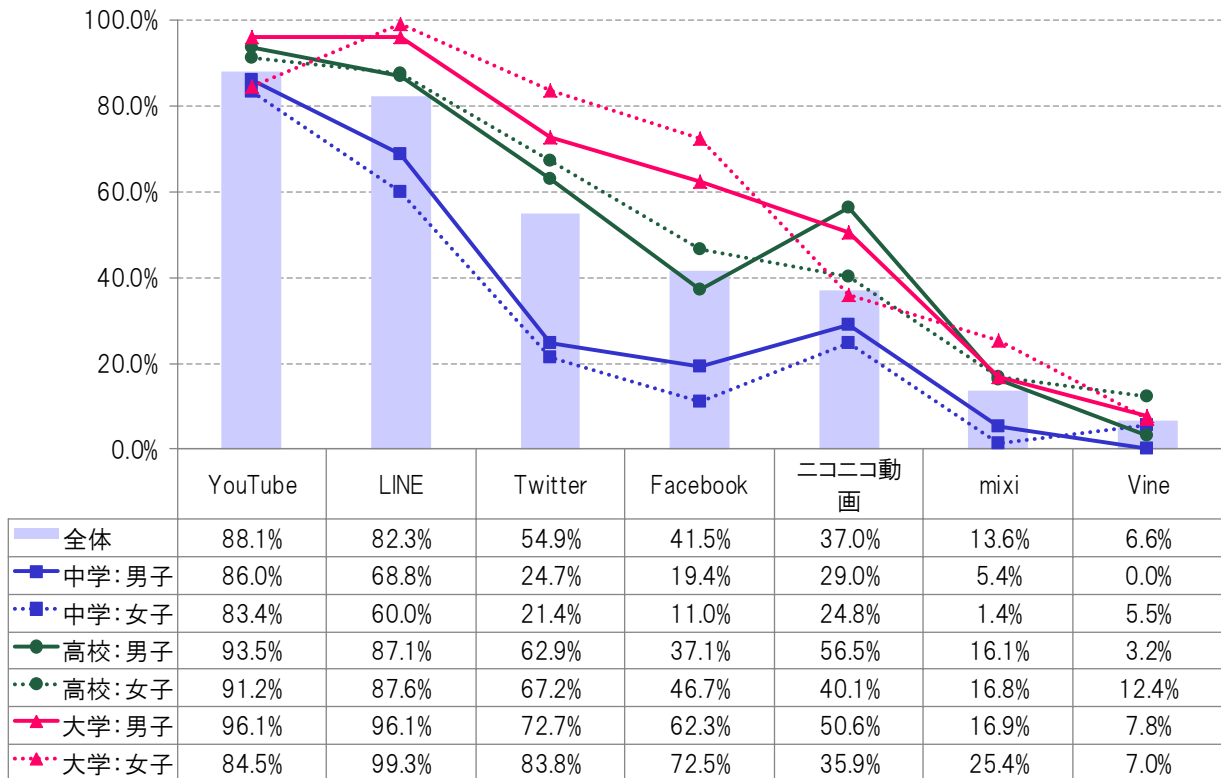




アプリの使用について中高大に分け、さらに男女別に見ると、YouTube とニコニコ動画の動画視聴アプリについては男子の使用率が高くなった。LINE、Twitter、Facebook のでは高校生・大学生において女子の使用率が高かった。

一方中学においては、全体的に女子の使用率が低い結果となった。

<図表 8：使ったことあるアプリ（中高大・男女別 n=656）>



調査結果に関するお問い合わせ

株式会社コアネット

TEENS RESEARCH 担当：奥田

TEL：045-914-3005 MAIL: info@core-net.net

URL：http://www.core-net.net/